



# 令和2年度 豊殿小学校グランドデザイン

学校目標：心豊かで向上心を持ち実践力のある子どもの育成  
～ひとりのかがやき みんなのかがやき～

### 学校長の願い

- ・ひとりが輝き、友の輝きを認め合いみんなが輝く学校に。
- ・「はっきり話し よく聴く子」に。
- ・たのしく、深く、自ら学び合う学級・学校・地域に。

### 子どもの様子

- ・素直でまじめ、明るい子が多い。
- ・体を動かして遊ぶ子が多い。
- ・地域の方にも挨拶ができる子が多い。
- ・話すこと聴くことや、「ありがとう」「ごめんなさい」を素直に言うことが苦手な子がいる。
- ・自ら考えたり行動したりすることが苦手な子がいる。

### 地域・保護者の願い

- ・豊殿地域を知り、好きになり、地域の中で豊かに育ってほしい。
- ・毎日元気に学校に通い、明るい挨拶をしてほしい。
- ・学年の枠を越えて仲よく生活してほしい。

## ★ひとりのかがやき

	やりぬこう	つたえよう	くふうしよう
	1・2年	3・4年	5・6年
はっきり話し	<ul style="list-style-type: none"> <li>○先生に伝える</li> <li>○考えたことを伝える</li> <li>○聞かれたことに答える</li> <li>○最後まで話す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の考えを発表する</li> <li>○友だちの考えを聞いた感想を話す</li> <li>○最後まで話す</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の考えを語る</li> <li>○友だちの考えに対する自分の考えを話す</li> <li>○人前ではっきり話す</li> <li>○聞いている人を意識して話す</li> </ul>
よく聴く	<ul style="list-style-type: none"> <li>○話し終わるまで集中して聴く</li> <li>○やるのがわかる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○感想が話せるように聴く</li> <li>○自分の考えと友だちの考えの違いを聴く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○相手の考えに対する自分の考えを話せるように聴く</li> <li>○違いを受け入れながら聴く</li> </ul>
書く	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習の振り返りを残す</li> <li>○振り返りや日記を3文で書く</li> <li>○ていねいに書く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○5W1Hを意識して文を組み立てる</li> <li>○授業の振り返りや分かったことを書く</li> <li>○週末日記を書く</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業の振り返りや感想を書く</li> <li>○テーマに合わせて自分の考えを書く</li> <li>○「紡ぐ」に書くことを通して自分と向き合う</li> </ul>

重点活動

無言清掃・一人清掃  
体力づくり

考え、伝え合い  
個人追究、ペア・グループ追究を通して一人ひとりの考えや意見の交流をする

宿題・自主学习  
メディアコントロール

全校の子どもと先生で取り組む 基本の授業スタイル  
○合理的配慮がなされる授業 ○子どもを観る構え

問いをもち  
学習問題の提示からこの時間に学ぶことを決め出す

キッズ活動  
明るいあいさつ

工夫する 次につなぐ  
全体追究をし、まとめ、振り返る次につながる学びの蓄積

## ★★★みんなのかがやき

### 人権同和教育の日常化

・自分も相手も大切に ・ちがいを認め合う

### 生活科・総合的な学習の充実

- ・学級の仲間とともに、もの・人・ことと存分にかかわる(体験しよう 地域へ出かけよう)
- ・学級の仲間とともに、課題を見つけ探究しよう(調べに行こう 聞きに行こう)
- ・学級の仲間とともに、地域の役に立つこと・自分ができていることを考えよう(地域と学び合いをしよう)

### 子どもを支える 地域・家庭・学校

- ◇子ども理解と個に応じた指導、自尊感情の育成。一人ひとりの子どもを受け入れ、理解する生活指導。
- ◇学級ごとのカリキュラムをもち、子どもの実態に応じて見返し、組み立てなおす生きたカリキュラム。
- ◇「つむぐ」を通じた親子での家庭学習や家庭生活の振り返り、親子の会話。
- ◇PTA・ガンバ応援団・地域の方々と共に、地域の子どもを育てる。